

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS
NO.323 1990

5

● *New Model*

ヤマハスクーター **AXIS NEWJOG** スポーツ RS90

ヤマハスポーツ **RIZ FZX750**

特集 性能+感性 ニューカマー**AXIS**登場

RIZ コンセプトストーリー



アップグレードスクーターAXISを さらに機能的にドレスアップ 本体とセットでおすすめてください。



ウインドシールド
●価格 ¥5,900
●部品番号 3KJ-W0711-01



グリップエンドプラグ
●価格 ¥980
●部品番号 (ブラック) 34X-W0791-00
(ホワイト) 34X-W0791-10



バックミラー(左)
●価格 ¥1,050
●部品番号 3AA-26280-00



ハンドルカバー
●価格 ¥2,100
●部品番号 (ホワイト) 90793-62005
(ブラック) 90793-62008



大型キャリア
●価格 ¥2,500
●部品番号 (メッキ) 3KJ-W0737-00
(ブラック) 90793-50021



リアバスケット
●価格 ¥2,300
●部品番号 (ホワイト) 14T-W0723-00
(ブラック) 50M-W0723-00



リアバスケットバッグ
●価格 ¥3,200
●部品番号 (ブラック) 90793-61023
(ホワイト) 90793-61024



リアボックス
●価格 ¥9,350
●部品番号 (ブラック) 14T-W0754-00-FF
(ホワイト) 50M-W0724-01-36

上記の他、フロントバスケットも用意いたしました。詳しくは担当ヤマハマンまでお問合せください。

※価格はすべてメーカー希望小売価格です。価格には消費税は含まれません。

で選ぶ!

ヤマハスクーター 3機種揃って新発売

クオリティ輝く **AXIS** (アクシス)

4月24日新発売

ヤマハスクーター

メーカー希望小売価格：¥159,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ブラック2、ホワイトカクテル1、コスミックブルー



ブラック2

機能、走行性能、乗り心地、スタイリング、……すべての面で群を抜くクオリティを実現したニュースクーター、それがヤマハ『AXIS (アクシス)』です。

スポーツカー感覚のボディフォルムを演出する各パーツ。自由度が大きく快適なライディングポジションを生む余裕のサイズ。約20ℓの大容量ヘルメット収納ボックスと、便利で使い勝手の良いフロントラック。そして航続距離をグンと伸ばす5.5ℓ大容量の燃料タンク——と、スクーターに要求される機能のすべてに、必要にして十分な配慮を施しました。

また、これら機能を支える走りには、パワーソースに新開発“Zエンジン”を搭載。抜群のパワーフィーリングと発進加速レスポンスを誇っています。さらに足回りでは、アルミ・アウターチューブにオイルダンパー装備のフロントフォークを採用したのをはじめ、前後90/90-10インチ・偏平チューブレスタイヤ、155mmのフロントディスクブレーキを装備。安定性の高いロングホイールベースと相まって、スポーティな走りを実現しています。スクーターのニュートレンド『AXIS』で、新規ヤングへの積極的なアプローチをお願いします。

ホワイトカクテル1



コスミックブルー



■アクシス(AXIS)仕様諸元

●全長1720mm ●全幅630mm ●全高1040mm ●シート高730mm ●軸間距離1170mm ●最低地上高90mm ●乾燥重量68kg ●舗装平坦路燃費66.0km/ℓ (30km/h) ●最小回転半径1.8m ●制動停止距離3.5m(20km/h) ●エンジン2サイクル、クランク室リードバルブ、単気筒49cc ●内径×行程40.0mm×39.2mm ●圧縮比7.2:1 ●最高出力6.8ps/7000rpm ●最大トルク0.71kg-m/6500rpm ●始動方式セル・キック併用式 ●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ) ●オイルタンク容量1.1ℓ ●エレメント種類湿式ウレタンフォーム ●燃料タンク容量5.5ℓ ●キャブレター型式3VP(YI6P) ●点火方式C.D.I. ●点火プラグ型式BPR6HS、BPR7HS、W20FPR-U、W22FPR-U ●バッテリー容量12V 3Ah(10) ●1次減速(比)はすば歯車(3.692) ●2次減速(比)平衡歯車(3.454) ●クラッチ形式乾式内拉重錘式、コイルばね ●変速機Vベルト自動無段変速 ●変速比2.512~0.790 ●フレーム形式バックボーン(パイプ) ●キャスト26°00' ●トレール69mm ●タイヤサイズ90/90-10 40J(前後とも) ●制動装置(前)油圧式ディスク(後)ドラム(リーディングトレーリング) ●ブレーキ胴径又はディスク外径(前)155mm(後)110mm ●懸架装置(前)テレスコピック(後)ユニットスイング ●緩衝方式オイルダンパー、コイルスプリング(前後とも) ●ホイールトラベル(前)52mm(後)64mm ●ヘッドランプ12V 30W/30W バルブ着脱式 ●テールランプ/ストップランプ12V 5W/21W ●フラッシャーランプ12V 10W×4 ●メーター速度計、燃料計

俊敏、ファッショナブル、スポーティ

ヤマハスクーター

NEW JOGスポーツ

4月24日新発売



ホワイトカクテル1

メーカー希望小売価格：¥143,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)
※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ブラック2、ホワイトカクテル1

フロントディスクブレーキに象徴されるスポーティさで、ヤングを中心に圧倒的な人気を集めるニュージョグスポーツが、走り、デザインに、さらに躍動感を増して新登場。

同時発売のアクシスと同様、パワフルなZエンジンを搭載するとともに、カラーリング、グラフィックも一新しました。どうぞよりスポーティになった『NEW JOGスポーツ』を、元気いっぱい若者たちにご案内ください。

ブラック2



■ニュージョグスポーツ仕様諸元

●全長1630mm●全幅640mm●全高1005mm●シート高715mm●軸間距離1130mm●最低地上高80mm●乾燥重量63kg●舗装平坦路燃費68.0km/ℓ(30km/h)●最小回転半径1.6m●制動停止距離3.5m(20km/h)●エンジン2サイクル、クランク室リードバルブ・単気筒49cc●内径×行程40.0mm×39.2mm●圧縮比7.2:1●最高出力6.8ps/7000rpm●最大トルク0.71kg-m/6500rpm●始動方式セル・キック併用式●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ)●オイルタンク容量0.8ℓ●エレメント種類湿式ウレタンフォーム●燃料タンク容量3.5ℓ●キャブレター型式Y16P●点火方式C.D.I.●点火プラグ型式BPR6HS、BPR7HS、W20FPR-U、W22FPR-U●バッテリー容量

12V 3Ah(10)●1次減速(比)はすば歯車(3.692)●2次減速(比)平歯車(2.320)●クラッチ形式乾式内拡重錘式●変速機Vベルト自動無段変速●変速比2.512~0.790●フレーム型式鋼管バックボーン●キャスト26"11"●トレール70mm●タイヤサイズ80/90-10 34JL(前後とも)●制動装置(前)油圧式シングルディスク(後)ドラム(リーディングトレーリング)●ブレーキ胴径またはディスク外径(前)155mm(後)110mm●懸架装置(前)テレスコピック(後)ユニットスイング●緩衝方式コイルスプリング(前後とも)●ホイールトラベル(前)51mm(後)40mm●ヘッドランプ12V 30W/30Wバルブ着脱式●テールランプ12V 5W●ストップランプ12V 21W●フラッシュャーランプ12V 8W×4●メーター速度計、燃料計

パワフル& スタイリッシュ

ヤマハスクーター

RS90

4月26日新発売(国内1,000台限定)

メーカー希望小売価格：¥189,000(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ブラック2

活発な需要推移を見せる台湾スクーター市場で、ヤングを中心に抜群の人気を誇るのが、この『RS90』です。デュアルヘッドライトや別体サイレンサータイプの大型チャンバーなどその独創的なデザインに加え、原付二種

ならではの余裕のパワーと本格的な足まわりが生むスポーティな走りが特徴。

先の第28回東京モーターショーに「ターゲット90」の名称で参考出品された折、国内のヤングからも大きな支持をいただいたモデルです。



■RS90仕様諸元

●全長1690mm●全幅655mm●全高990mm●シート高715mm●軸間距離1155mm●最低地上高95mm●乾燥重量71kg●舗装平坦路燃費55.0km/ℓ(50km/h)●最小回転半径1.7m●制動停止距離7.5m(35km/h)●エンジン2サイクル・ピストンリードバルブ・単気筒82cc●内径×行程50.0mm×42.0mm●圧縮比6.0:1●最高出力7.7ps/7000rpm●最大トルク0.84kg-m/6000rpm●始動方式セル・キック併用式●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ)●オイルタンク容量1.2ℓ●エレメント種類湿式ウレタンフォーム●燃料タンク容量5.5ℓ●キャブレター型式VM14●点火方式C.D.I.●点火プラグ型式BPR6HS、BPR7HS●バッテリー容量12V 4Ah(10Hr)●1次減速(比)はすば歯車(3.500)●2次減速(比)平歯車(2.818)●クラッチ形式乾式内拡重錘式●変速機Vベルト自動無段変速●変速比2.268~0.764●フレーム形式鋼管バックボーン●キャスト27"00"●トレール70mm●タイヤサイズ3.00-10 4PR(前後とも)●制動装置(前)油圧式シングルディスク(後)ドラム(リーディングトレーリング)●ブレーキ胴径又はディスク外径(前)155mm(後)95mm●懸架装置(前)テレスコピック(後)ユニットスイング●緩衝方式コイルスプリング(前後とも)●ヘッドランプ12V 20W/20W×2●テールランプ12V 5W×1●ストップランプ12V 21W×1●フラッシュャーランプ12V 10W×4●メーター速度計、燃料計

新次元スポーツマインド満載

ヤマハスポーツ

R1-Z

オールワン・ズィー

6月5日新発売

メーカー希望小売価格：¥489,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)
※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録料にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：シルキーホワイト、ブラック2



R1-Z仕様諸元

●全長2005mm ●全幅700mm ●全高1040mm ●シート高775mm ●軸間距離1380mm ●最低地上高135mm ●乾燥重量133kg ●舗装平坦路燃費34.0km/ℓ (50km/h) ●最小回転半径2.8m ●制動停止距離14.0m (50km/h) ●エンジン2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・並列2気筒249cc ●内径×行程56.4mm×50.0mm ●圧縮比6.4:1 ●最高出力45ps/9500rpm ●最大トルク3.7kg-m/8500rpm ●始動方式キック式 ●潤滑方式分離給油(ヤマハオートループ) ●オイル容量1.2ℓ ●エレメント種類湿式ウレタンフォーム ●燃料タンク容量16ℓ ●キャブレター型式TM26SS×2 ●点火方式C.D.I. ●点火プラグ型式BR8ES、BR9ES ●バッテリー容量12V 3Ah (10H) ●1次減速(比)ギ

所有感を十分に満足させるスパルタンなフォルム、街並みを駆け抜ける鮮烈な走り——レプリカでもない、テイスティでもない、まったく新しいモーターサイクルの楽しさを提供する『R1-Z (オールワン・ズィー)』の誕生です。

搭載するニューエンジンは、2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ吸気の並列2気筒。パーソナルでの扱い易さ、レスポンスの向上、追越加速性能の3点を柱として、2サイクルエンジンの面白さをテーマに開発。一方車体関係では、俊敏さとパワー感を表現するデザイン、スパルタンなイメージの追求、フリーダムの具現化……等をデザインコンセプトとしながら、スーパースポーツモデルに匹敵する運動性能を達成。

フォルムと車体各部を構成する機能パーツの有機的コンビネーションにより「市街地とワインディング」を中心とした一般道での走りの楽しさを提唱することをコンセプトに開発にあたりました。

どうぞ、R1-Zが生み出す新しいモーターサイクルの楽しさを、幅広いお客さまにご案内ください。

ヤ(2.545) ●2次減速(比)チェーン(3.214) ●クラッチ形式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進6段左足動リターン式 ●フレーム形式鋼管ダブルクレードル ●キャスト24°30' ●トレール92mm ●タイヤサイズ(前)110/70-17 54H(後)140/70-17 66H ●制動装置(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●ディスク外径(前)282mm(後)210mm ●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)ガス、オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)130mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V 60W/55W ハルブ着脱式(ハロゲン) ●テールランプ/ストップランプ12V 5W×2/12V 21W×2 ●フラッシャーランプ12V 10W×4 ●メーター速度計、回転計、水温計

R1-Zの主な特徴

●パーソナル性能を向上させる Y・E・I・Sの採用

キャブレターとエンジンをつなぐ吸気管にチャンバーを設け、吸気ポート開閉により生じる圧力差を吸収、混合気速度のムラを最小限におさえるY・E・I・S (ヤマハ・エナジー・インダクション・システム)を採用。これによりパーソナル性能、とくに1/8〜1/2のアクセル開度での性能向上を実現しています。

このY・E・I・SとY・P・V・Sとの相乗効果で、低速でのパーソナル性能、レスポンスの向上と、高速でのパワー感の両立をあわせて体感できるのが特徴です。

●レスポンスを向上させる

●26TMキャブレターの採用
より適正な燃焼効率を狙って、キャブレターにはφ26mmのフラットバルブ式キャブレターを採用しています。Y・E・I・Sとのコンビネーションで、とくに低速域でのアクセルレスポンス向上を実現しました。

●低速での扱い易さを標準とした6速ミッション

トランスミッションは、エンジン特性に合わせた6速で、とくに低〜中速でのつながりを重視したレシオ設定としています。

●カーボンサイレンサーの採用

排気系には、右2本出しクロスチャンバー、およびカーボンサイレンサーを採用。バンク角を確保しながら、適正なチャンバー容量を設定できるレイアウトとし、『R1-Z』の外観デザインの大きなポイントにもなっています。

エキゾーストサウンドは、ヤマハ独自の排気音解析機を駆使して、静粛性にすぐれた心地良い2サイクルサウンドを実現しました。

●最適なタイミングが得られる

デジタル進角のC.D.1点火方式
デジタル進角のC.D.1点火方式を採用しました。これは、C.D.1ユニットに納めたマイクロコンピュータでコントロールするシステムで、

ヤマハ独自の剛性解析システムを駆使して開発したこのフレームは、振り剛性、縦剛性、横剛性の絶妙なバランスにより、マシントータルとしてのしなやかさを具現化し、市街地から峠道までの幅広いシチュエーションで扱い易いハンドリング特性を達成しています。

●インナーチューブφ38mm

大径フロントフォークの採用
インナーチューブ径φ38mmの大径フロントフォークを採用、インニシャル調整機構も装備しています。前輪の最適重量配分と相まって、すぐれたハンドリングを実現しました。

●リザーバータンク付

リヤサスペンション
リヤのクッションユニットには、リンク式モノクロスサスペンションを採用。インニシャル調整機構およびリザーバータンクを備え走行条件に合わせたキメ細かなセッティングが可能です。

●トラスリヤアームの採用

幅を広げずに剛性アップが図れる楕円パイプを備えたトラスリヤアームは、振り剛性に優れ、クッション性能をバックアップしています。

●異径4ポットキャリパー& フローティングダブルディスク

φ282mmの大径フローティングディスクをダブルで装着し、これに異径4ポットキャリパーを組み合わせることで、より強力かつコントロールな制動力の確保を図りました。

●前後17インチタイヤの採用

フロント、リヤともにホイールは17インチを設定。3本の中空スポークをもつ軽量キャストホイールです。

これにフロントは110/70-17、リヤは140/70-17の扁平タイヤを装着。ワインディングでの快適な走り、軽快な乗り心地を両立させたセッティングとしています。

●素材感、メカニカル感を演出する

アルミ、パーツ群
パーツひとつひとつの素材感、メカニカル感を演出するために、ハンドルバー、バーエンド、アッパーブラケット、



真価・進化。パフォーマンス・クルーザー

ヤマハスポーツ
FZX750

5月2日新発売

メーカー希望小売価格：¥692,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く) ※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ダークグレイッシュブルーメタリック1



■FZX750仕様諸元

●全長2230mm ●全幅785mm ●全高1110mm ●シート高750mm ●軸間距離1530mm ●最低地上高150mm ●乾燥重量208kg ●舗装平坦路燃費40.0km/ℓ (60km/h) ●最小回転半径2.8m ●制動停止距離14.0m (50km/h) ●エンジン4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ・並列4気筒・749cc ●内径×行程68.0mm×51.6mm ●圧縮比11.2:1 ●最高出力74ps/9000rpm ●最大トルク6.4kg-m/6000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量3.5ℓ ●エレメント種類不織布 ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレター型式BDS34×4 ●点火方式トランジスター ●点火プラグ型式DPR8EA-9、DPR7EA-9、X24EPR-U9、X22EPR-U9 ●バッテリー容量12V 14Ah (10h) ●1次減

速(比)ギヤ(1.895) ●2次減速(比)チェーン(2.529) ●クラッチ形式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進5段式足動リターン式 ●フレーム形式ダブルクレードル ●キャスト28°45' ●トレール114mm ●タイヤサイズ(前)110/90-16 59H(後)140/90-15 70H ●制動装置(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●ディスク外径267mm(前後とも) ●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)コイルスプリング、エア併用(後)コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)140mm(後)97mm ●ヘッドランプ12V 60W/55W バルブ着脱式(ハログen) ●マーカーランプ12V 3.4W ●テールランプ/ストップランプ12V 5W×2/21W×2 ●フラッシュランプ12V 21W×4 ●メーター速度計、回転計、水温計

大排気量マルチエンジンならではの余裕のクルージングで人気を集めるFZX750が、静粛性と扱い易さを大幅に向上させて新登場です。今回の見直しのポイントは、定評の水冷・DOHC・5バルブ並列4気筒エンジンをさらに扱い易いものとするために、バルブタイミング、キャブレターセッティングを変更、さらにミッションに新たに低レシオ(高速向け)5速を採用。マフラーも内部仕様を変更し、排気音の低減を図りました。より一層ジェントルになったFZX750で、自動二輪市場を大きく広げてください。

●ニューワイイドトラスフレームの採用

低速回転から高速回転までの全回転域において、エンジンが要求する最適点火時期を得るものです。また、マイクロコンピュータは、点火タイミングだけでなく、V.P.V.Sのバルブ開度もコントロールします。

ヘッドライトステー、リヤアームブラケット、フロントレストブラケット、チェンケース、メーターパネルにはアルミ製パーツを採用。サテライトメッキのサイドカバー、カーボンサイレンサー等とのコンビネーションで、シャープなボディデザインを一段と強調しています。



C O N T E N T S

NEW MODEL

ヤマハスクーター **AXIS**
NEW JOG スポーツ RS90 3
 ヤマハスポーツ **R1-Z FZX750** 5

特集 性能+感性
 ニューカマー **AXIS** 登場 8

R1-Z コンセプト・ストーリー 14

「あかるいスポーツ」宣言。広告紹介 16

●Y.E.S.S.活動ノート
 遊・YOUR・誘 SHOP 17

●リレーエッセイ
 バイク紀行 山本弘二 20

●時代をつかむ話題と情報
 情報スクランブル 22

うちのお店の元気印 24

ご商売ヒント&ヒント 25

サービスマン日記 26

トピックス 27

レーシングエクスプレス 30

インフォメーション 32

from SAFETY 34

HOT SHOP 拝見 35

THE LATEST AD 38

セールスカレンダー

5月~6月

5月		21月	
5 (土)	こどもの日	22火	
6 (日)	立夏	23水	
7月		24木	大安
8火	大安 世界赤十字デー	25金	
9水		26土	
10木	愛鳥週間	27 (日)	
11金		28月	
12土		29火	
13 (日)	母の日	30水	大安
	<small>全日本ロードレース選手権 第5戦 SUGOTT-F-1 全日本モトクロス選手権 第5戦鈴鹿</small>	31木	
14月	大安	6月	
15火	沖縄返還記念日	1金	水無月 気象記念日 電波の日
16水		2土	
17木		3 (日)	
18金	国際善意デー	4月	歯の衛生週間
19土		5火	大安
20 (日)	大安		世界環境デー・環境週間
	<small>全日本トライアル選手権 第2戦中国</small>		

セー ル ス 歳 時 記



樹木の若葉が美しい季節。春から初夏へ、
 お店もイメージチェンジを凶りましょう。
 手づくりPOPなどには活動的な雰囲気を感じ
 り込み、季節の移り変りを強調したものを。
5月の商戦は、4月のペースアップに6月
 から7月のボーナス時期と、好材料が揃
 っています。「ザ・フェア」の有効活用など、
 計画的な販売活動で、ニューモデルの拡販を
 お願いします。

『セーフティラン 走る2人の合言葉』

'89二輪車セーフティスローガン最優秀賞作品

特集

性能+感性 ニューカマー AXIS 登場 アクシス

走り、乗り心地、デザイン、車格……スクーターの魅力を決めるすべての要素に対して高いクオリティをプラス。今までのスクーターとはひと味違う魅力を満載したAXIS（アクシス）が、いよいよ新発売となりました。今回の特集では、スクーター市場に新風を

吹き込むこのニューカマーAXISの開発の狙いと売りのポイントを、開発担当スタッフと東西2店のスクーター販売の優良店さんの声でまとめてみました。AXIS拡販のご参考にどうぞ。



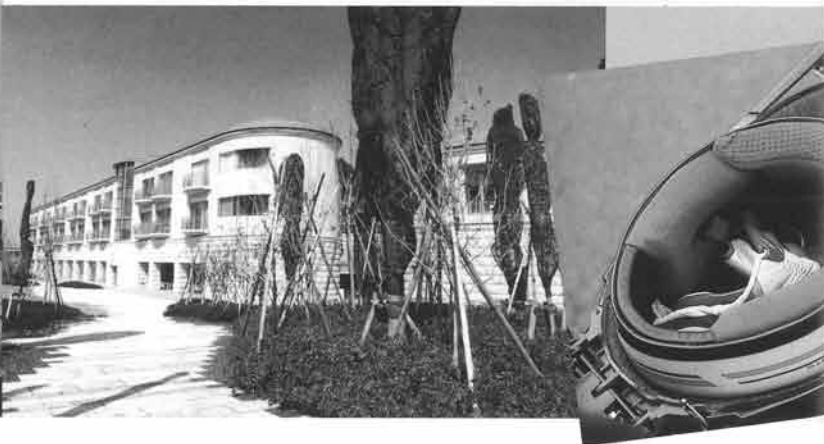
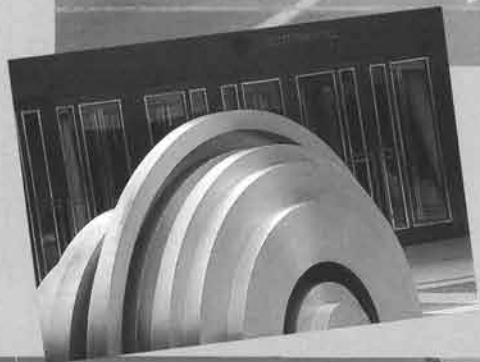
最近、スクーターの中心ユーザーである10代〜20代という若い人たちは、見た目のカッコよさを求めるようになってきました。中でも、高級感のある四輪スクーターへの憧れが強いことから、「アクシス」には全体のボディラインやリヤスポイラー、アンダーカウル、ウインカーと一体化したヘッドライトレンズなど、スポーティイメージのエアロフォルムを採用。また、1170mmのロングホイールベースによる大きめのボディサイズは、体格のいいヤングが乗ってもゆったりしたポジションで、車体が小さく見えてカッコ悪いという不満もありません。人目の気になる街なかで乗る場合がほとんどですから、スマートに乗れる車格は大きなメリットになると思います。

タウンユース中心という使われ方は、走りの機能の面でも強く意識しました。まずエンジンは、ニュージヨグスポーツと同じパワフルなZエンジンを搭載していますが、信号機が多く、ストップ&ゴ

街乗りの快適性と
スポーツ性を
両立させた
ワンクラス上級車

碓山隆司

プロダクト開発部/アクシス開発担当



図っています。

スポーツマインドあふれる外観と、優れた走行性能、そして扱いやすい機能の数かずを満載した「アクシス」は、ヤングばかりでなく本物がわかるアダルト層まで幅広くマッチします。ぜひワンランク上の魅力のすべてを、お客さまに十分お伝えください。

ーをくり返す道路状況を考え、より発進加速に優れたセッティングを施しています。同時に、動力性能に見合った確実な制動力を得るため、フロントにはディスクブレーキを採用いたしました。

さらに、オイルダンパー採用の前後サスペンションや90/90-10偏平チューブレスタイヤを採用した足回りで、スポーティで快適な乗り心地と高い操縦安定性を実現しました。特に、スクーターが走行する道路の左側は、路面が荒れていることが多いので、安定した走破力は大きな魅力となります。

そのほか、定番のヘルメット収納機能に加え、容量の大きなフロントラックを装備しているのでちよっとした買い物や通学などに大変便利。燃料タンクも5.5ℓと容量をアップさせ、ガソリン補給の手間を減らすなど、使い勝手の向上も

全車種を自分で乗り較べ ベストな車種選びに活用!

YOU SHOP BELL (鈴木治店長 / 東京都練馬区)

車種の特徴とお客さまの
個性による最適な一台を

30年余りの販売店経歴を持つ「YOU SHOP BELL」さんは、昨年10月に店舗を新装、それに合わせて全く新たな気持ちで再スタートをきりました。そこで、新規客獲得にもっとも力を入れている鈴木店長ですが、中でも、お店と末長く付き合ってもらうためには、まず本当に満足できる一台を選んでいただくことが必要だと考え、人気車種に偏らないご商売を積極的に展開しています。

「お客さまのタイプは、大きく分けて2つ。車種はもちろん、カラーまでコレ、と指名してくる人と、こんなバイクを探してるんだと相談してくる人ですね。指名するお客さんは、ほとんど自分で決めた車種以外興味を示しません。初心者には話を聞いてみるとほかの車種やカラーに変わる場合もあるので、決めてから探すにできる限りいろいろな条件を聞き出すようにしています。」

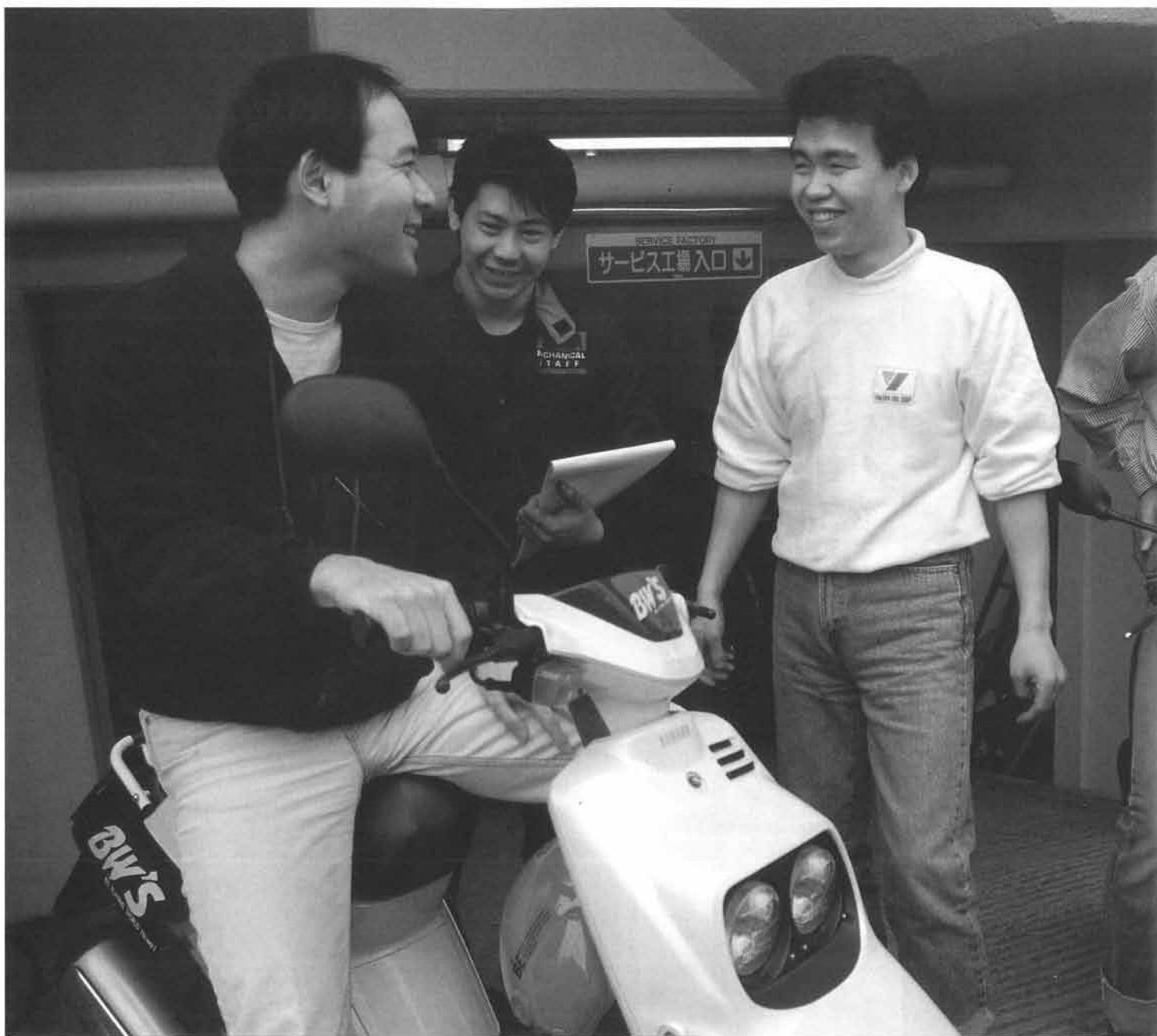
そして、使い途や必要とする機能、予算などの情報を、とりあえずニュージョグを基本に比較しながら考え合わせて、一



お客さまが本当に満足する車種は何か、会話の中からその糸口を探る

番びつたりの一台をおすすめするわけですね。例えば、外観のスポーティさや走りのよさを気にする学生さんにはニュージョグスポーツ、初めてバイクに触れる女性にはパワーがやさしいミント、個性豊かでタフなイメージを求める男性にはBWS、といった具合にね。

今度出てくるアクシスは、手薄だったチャンプCXの後継機種になると思いますが、体格のいい人、あるいは機能にウルサイ上級車好みの人にすすめようと思えます。」



自分の試乗経験をセールストークに生かし、お客さまの要望にもっともマッチした一台をアドバイスする鈴木店長（中央）

生きた情報を得るには まず自分で乗ってみる

ラインナップが豊富にあれば、その車種ごとの特性を正確に把握したうえで、セールストークが不可欠。そのため、鈴木店長は全車種を自ら試乗し、実際の体験に基づいた感想をセールストークに役立てています。

「カタログや人聞きの情報では説得力が弱いですから、できる限り自分で試しているんです。そうすると、カタログにはない特徴や思いがけないセールスポイントが見えてくるし、車種別の比較ができますから、お客さんが求める条件にもっともピッタリ合う車種のアドバイスが可能です。おろしたバイクはそのまま試乗車に使いますから、直接お客さんが乗って確かめることもできて、一石二鳥。最後は代車として使うこともあるので、まったくムダになりません。むしろ、試乗したお客さんから感想をきいて、セールストークにフィードバックしていることも考えるとメリットは数えきれないですね」

また、乗った時の見映えを気にする女性のお客さまには、店内の一方の壁にしてある大型の鏡に向って乗車した姿を映して見せ、気に入ったものを選んでもらうこともあるそうです。

「車格の大きさや、外観のカッコよさがアピールポイントのひとつであるアクションも、実際にお客さん自身が乗った姿を見せてあげれば、かなり効果的でしょう。ウチは、こうした都会派スクーターを求める若いお客さんが多いので、今後は主力機種のひとつになると思います」

点検・整備をセールスフックに アクセスへの代替を促進!!

YOU SHOP ナカノ (中野善弘社長/大阪府堺市)



毎月約100枚の 点検・整備案内DMを発送

郊外の住宅地、堺市にお店を構え、地元密着型のご商売でスクーターの販売を伸ばす「YOU SHOP ナカノ」さん。やはり中心は新規のお客さまですが、開店以来地道に集めてきた顧客データが、代替促進に大きく役立っているようです。

しかし、同店のお客さまは10代が中心。16歳でスクーターを購入しても、2年後には普通免許の取得年齢に達します。このため、数年前までは代替のお客さまがまったくいないほどでした。そこで、「代替の見込みのあるお客さんには、点検と整備の案内DMを送るようにしました。合計で約800通、毎月約100通のペースで。そうしたら、毎回発送



数の15%程度のお客さんが来店してくれるようになったんです」

こうしてお店に訪れたお客さまには、親切丁寧な点検・整備はもちろん、日常の使用状況などを聞き出したうえで、的確なアドバイスを与えています。また、車両の状態や使用状況などは、新たなお店のデータとしてストックされます。

「お客さんが持ち込んでくるスクーターを見ていると、ものすごくキレイに乗っているんですね。特に若いお客さんのスクーターはビックリ。乗り方もスマートだし、車両もかなり大切にしているようです。スクーターが下駄代わりなのはひと昔前、いまはファッションのひとつになっただけじゃないでしょうか。」



もしそのとおりなら、これから代替は増えるでしょうね。ファッションは着替えるものですから」

18歳前後の代替客に「大人っぽい」アクシスを

同店の車種別販売構成は、現在のところニュージョグが80%を占め、残りをミントやBWS、さらにチャンプが分けています。このラインナップにニューモデルのアクシスが加わるとどのようなものか、中野社長に予想していただきました。

「去年の場合はニュージョグの指名買いが圧倒的に多かったせいで、ほとんど店の操作で売り分けるケースがなかったんですが、今年はちよつと違うでしょうね。まず、16歳でスクーターに乗り始めて、走り自体を楽しむことはもう卒業という18歳ぐらいの代替客には、高級感のあるアクシスをすすめたいと思います。装備はスポーティなんですけど、セールストークにはあえて「大人っぽいよ」を使いたいですね。それと、ニュージョグ90はスポーツバイクのお客さんの買い増し。セカンドバイクとしての機能をアピールするつもりです。」

ニュージョグはネームバリューがあるのでまだまだ指名買いは続くでしょうから、割合としてはアクシス30%、ニュージョグ40%、ニュージョグ90+既存モデルで残りの30%くらいにしたいですね。アクシスの商品性なら「代替えにも十分対応できる」という中野社長。次回の点検・整備案内DM発送の際には、ニューモデル・アクシス登場のお知らせが同封されることになっています。

バイクはストリートに戻ってきた 乗り手はマシンにより非日常を求め 「非日常のスタンダード」

このストーリーは、巻頭で紹介のR1-Zの持つマインドを、より深くご理解いただくために創作したものです。キャラクターのプロフィールは、R1-Zを愛してくるであろう多くのライダーが持つマインドの象徴としてつくりあげました。

私、28歳、独身。外資系メーカーの販売部門に籍を置いている。

今一番の楽しみは、ガレージの欧州車セダンの横に入れてある、ヤマハのニューカム、R1-Zだ。

たまの休日の早朝（日曜といえども、出勤は多い）朝4時に目を覚ます。熱めのシャワーとコーヒード、身体を現実慣らす。外はすがすがしい朝だ。陽光が部屋に射し込んでくる。昨夜はパーソナルコンピュータをいじったまま寝てしまったが、今はこの澄んだ空気で実に爽やかだ。

黒の革パンツに、黒のショートブーツ。上着はグレーのブルゾンをはおり、ガレージまで行く。ガレージのシャッターを、周りに気遣いながら開けると、セダンの横から、特徴ある2本チャンバーが見える。

バイクを外に出し、軽く仕業点検し、マシンを表通りまで押していく。気分は今から始まるであろうドラマに対する期待でドキドキしてくる。

メインスイッチを入れ、Y P V Sの例の作動音を聞きながら、軽くキックする。即、エンジンが目覚めた。小気味良いエンジンの弾ける音。朝の目覚めで、まだサイレンサーから青い煙が見える。チョークを戻し、早朝の街をスタートした。

早朝の街は、いつもの街と全く違うものだ。まるでゾンビの様な人々の群、雑踏。熱気と排気ガス、ホーンが金切り声を上げる、車、車、車。そんなものが全て眠りについて、街は静寂さを見せる。むしろ、活動を停止しているともいえる。

都会に自然はないというが、そんなことはない。朝がそうだ。淀んだ街の空気、熱気が、朝の空気でキリツとしめられている。陽はまさに昇っている最中であり、これから始まる一日に、期待を持たせてくれる。それは死んだ様な街に、活力を与えてくれる力であり、街を別物に変えるビーナスでもある。そんな時の朝露は、その神秘性に磨きをかける演出としては、最高のものであろう。

信号ですら、いつも赤ばかりを見せて進むことを拒んでいるが、今朝は違う。道幅までも、ほとんど通行量のない状況では、びっくりするくらい広がったりするのだ。そんな全ての表情が違う、「朝」の街中を抜け、首都高速へ入っていく。

朝の首都高速は、街と同じくキラキラ光っていた。温度の違いで生じた小さな水のツブが、朝の光で輝く時がある。そんなシーンは、日



常の生活の中で忘れ去られているものである。

日常のしがらみを自分の部屋に置いてくる事で、忘れていたものが、少しずつ思い出されてくる感じがする。

こんな時、R1-Zは、あくまでもジェントルであり、従順な面を見せてくれる。サーキットを故郷に持つ走りを追求したモーターサイクルのような、割り切りによる「ガマンの美学」に徹することはなく、やや前傾なポジションと、そんな朝を身体全体でスポーツする感覚なのである。

ガラ空きの首都高では4500rpmで流していると、平和な世界が広がってくる。さっきの街中からこの道まで、実にスムーズにストレスなく走ってきた。エンジンがかぶるどころか、十分なトルク感とパワーで流してきたのだ。解放感と、自由を満喫しながら。

そんな平常心の中から、日常の脱出は爽やかで、健康的なものである。しかし、そんな時間は長く続かない。非日常も、その中に身を置くと、すぐにそれは色あせてくるものである。その時、二速シフトダウンし、アクセルを開けてやる。

心は小気味良い加速感と凜とした朝の空気により、自由へと解き放たれていく。

「あかるいスポーツ」宣言。キャンペーン” 広告展開のご案内

4月に新聞掲載した、キャンペーン広告の第3弾です。今回の発言者は、自他ともに認める「バラドル（バラエティ・アイドル）」森口博子さん。明るさと元気の良さでお茶の間の人気をさらう森口さんからのメッセージは、「もっと心でモーターサイクルを楽しんでもらいたい」ということ。

ただモーターサイクルを速く走らせるのではなく、

モーターサイクルならではのもっと大きな楽しみ方、広い世界をエンジョイしたいものですね。

どうぞ店頭でも、この広告をフックに大いに話題を盛り上げてください。また、ヤマハでは、この広告についてのご意見やご感想、日頃感じているオートバイについて、広く発言を募集しています。お客さまにご案内ください。

FIELD OF YAMAHA

みんなが「あかるいスポーツ」がするためのフィールドを、ヤマハでは用意しています。今回はその1.バイクをココからエンジョイできる場所や企画の登場です。ライダーの人も、そうでない人も、ふむふむと、ごらんください。

楽しんだモン勝ち。

とことんあかるい、レース活動。

スピードや競技もたいじけど、楽しむことも忘れちゃいけない。バイクの走りを楽しんで、さらには、からだもココロも満喫する。ヤマハのレース活動は、初心者から上級者まで、だれでも気軽に楽しめるあかるい世界。本格的に愛する人も、みんなでワイワイ出たい人も、思い思いに楽しめます。モトクロスあり、トライアルあり、ロードレースありと、みんなのチャレンジを持っています。

■'91 Y.E.S.S. No.1 CUP SERIES

たれでも気軽に出場できるミニバイクレースのシリーズ戦。地区シリーズ・ブロック大会と勝ち組と、ついでにのクワッドチャンピオン大会が待っている。3年目の今年は、従来のMP-13に追加し、新しくMP-15レースを新設。あかるい新しい世界が待っています。

■50ccの本格派レース MP-18開催

めざましい新戦が、バイクカク。バイクはここでも夢は、どっかい人の登場門が、MP-18。この大会のフルスケール50ccマシン、TZ50とTZ150によるワンメイクレースと、仲間と参加するのも楽しい。

■レーシングスポット

レースはやっぱりレーシングコースで楽しみたい。北海道スピードパーク・筑波サーキット・富士スピードウェイ・春日井サーキットなど、全国11ヶ所のスポットから、バイク・ライダーの楽しみも増える。

■ライディングスポット

モーターサイクルを思いっきり楽しみたい人のために、北海道から沖縄まで、各地に施設を用意。モトクロスからトライアル、ロードレースまで、いろんな種目にチャレンジできる。気軽に行って遊ぼう。

■エキサイティングサマーツアー

競るものレースの楽しみ方。というわけで、ヤマハには本場のレース体験ツアーがある。今年はAMAスーパーバードロス島前競艇とアメリカ西部海岸の激しいバック・キャッチの競艇の2つに決めた。

もっと新しい道へ。

■'90チャレンジ3,000キロ

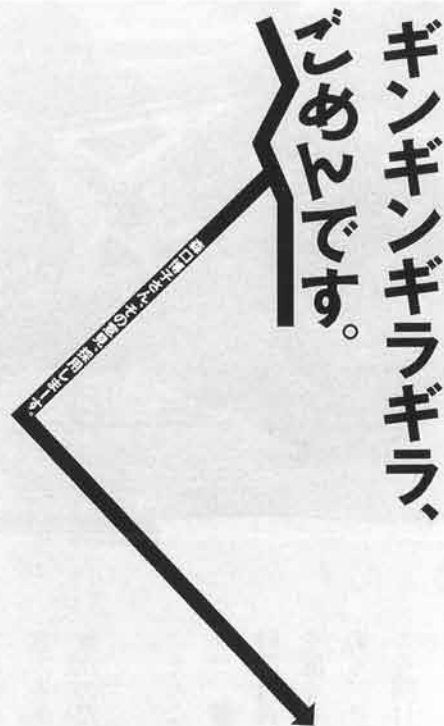
日本料業社から初めて約3,000キロ。この距離の記録を、めざましいチャレンジ3,000キロ。今年で8回目。自分で決めたペースをもち、1回のエンタリーで12,000キロまでチャレンジが楽しめる。乗客体験もなし。出陣も命もなし。ウルメや遠征が目当てで、自分なりにエンジョイできる。それ。ベストウエイ。1年ぶりに新しい道を見つけた。仲間と比べるのもおもしろい。

Y.E.S.S. YAMAHA EARTHLY SPORTS SYSTEM
モーターサイクルのあかるい世界が、たれでも楽しめる「あかるいスポーツ」のクラブです。

静かにやさしく、いい運転。
めざましい、マフラーの音も楽しめ！
●いつでもどこでも楽しめる安心！

見る・見られる・いい運転。
バイクは空間もライト・オン！

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社



いつもお茶の間を盛りあげてくれる森口さんも、バイクについてはキビシイ意見をおもちでした。たしかに、快適とか清潔がモチはやされているいま、走り味のギンギンギラギラは色がわるいようです。たとえレースのときでも、エンジョイ精神を忘れない。これだと思えます。たとえば、脂肪。ピシッとつなぎでキメるのもいいけど、もっと自由に暮らしたい。ココロがどたけ楽しんでるかが大切なんだと思えます。私たちは、バイクをあかるくエンジョイできる機会をつくっていきます。森口さんのお目になうライダーが早く現れることを、期待しています。●あなたの意見、きかせてください。バイクについて、この広告について、お便りお待ちしております。〒438 静岡県静岡市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課まで

「あかるいスポーツ」宣言。
YAMAHA MOTORCYCLE

森口博子さん(タレント)

※森口博子さんの発言広告は、4月中旬に『読売新聞』をはじめ『週刊ポスト』『週刊文春』『ビックコミック・スピリッツ』『ポパイ』『アンアン』『メンズ・ノンノ』の各紙誌に掲載いたしました

Y.E.S.S.

YAMAHA EARTHLY SPORTS SHOP

Y.E.S.S. 活動ノート

遊・YOUR・誘SHOP

単店でも開催できる『^{ビー}PUZZLE-^{ライド}RIDE』を
お店のY.E.S.S.メニューに加えてみませんか?



“春いちばんバイククルージングフェア”の一環として、'90年よりスタートしたY.E.S.S.の新しい遊び『PUZZLE-RIDE(ビーライド)』。手軽な週末のY.E.S.S.活動として、また、原付クラスのお客さまへの遊びの提案として、ビーライドをお店のオリジナルメニューに加えるY.E.S.S.ショップも増えているようです。

そこで今回は、ビーライドを単店開催する場合の企画・実施の方法をモデルケースに沿ってご紹介します。みなさんのお店でも、ぜひチャレンジしてみてください。

●ルール

『ビーライドは、公道を使うラリー形式のゲームです』

1チーム2名(2台)でベアを組み、当日配布するコマ図にて指示されたコースを、道路標識や道路交通法に従って走行、チェックポイントを経由しながらゴールを目指します。さらにコマ図の中に、走行コースの指示と合わせてコース途中の標識や道交法に関するクイズを提示し、遊びながら交通ルールとマナー、規則を学べる設定とします。

●ビーライドの採点ルール

- ① 実走行距離 | モデル走行距離 | ロス距離
- ② コース上で提示された問題の正解数
- ③ Aをマイナスポイント、Bをプラスポイントとして、①+②の合計点で順位を競います。

●企画

「まずは手軽に、イベント・トッキングプラン」

ビーライドの開催方法は、大きく分けて2通りあります。

まず、ビーライドを単独のイベントと



Y.E.S.S.
YAMAHA EARTHLY SPORTS SHOP

Y.E.S.S. 活動ノート

遊・YOUR・榜SHOP



して開催する方法。もうひとつが既存のイベントにドッキングさせる方法です。まだゲームの内容や楽しさがお客さまに伝わっていないとすれば、後者の方が簡単に集客できるでしょう。

企画のスタートは、第1に開催場所の選定から。既存のイベントにドッキングさせる場合は、お店をスタート地点にゴールはイベント会場まで。ピラード単独の企画なら、お店をスタート地点にコースを周って再びお店までとするのがいいでしょう。

普段走っている場所だから、といっても、意外に見過ごしてしまっている風景や建物、史跡などは多いもの。『自分の街の再発見』と題して開催するのも楽しいかもしれません。

この場合、市町村が発行している観光ガイド(役所または観光協会にあります)があると、企画もグッと立てやすくなります。

●下見

「コースの下見次第で、ゲームの楽しさがふくらみます」

企画の段階で大まかなコースが決定すると、次はコースの下見です。下見はコマ図作りの材料集めともなるので、できるだけじっくりと進めましょう。

ここで注意したいのが、すべてに渡って目で確認を取ることで、観光ガイドや地図に載っている古くからの建造物や史跡にも、折りからの開発ラッシュや区画整備によって形を変え、中には姿を消してしまっているケー



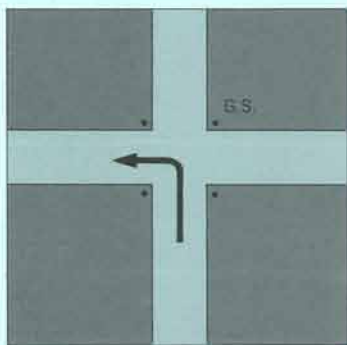
スさえあります。方法としてはゲーム当日と同様、バイク2台を使つての下見がベストでしょう。

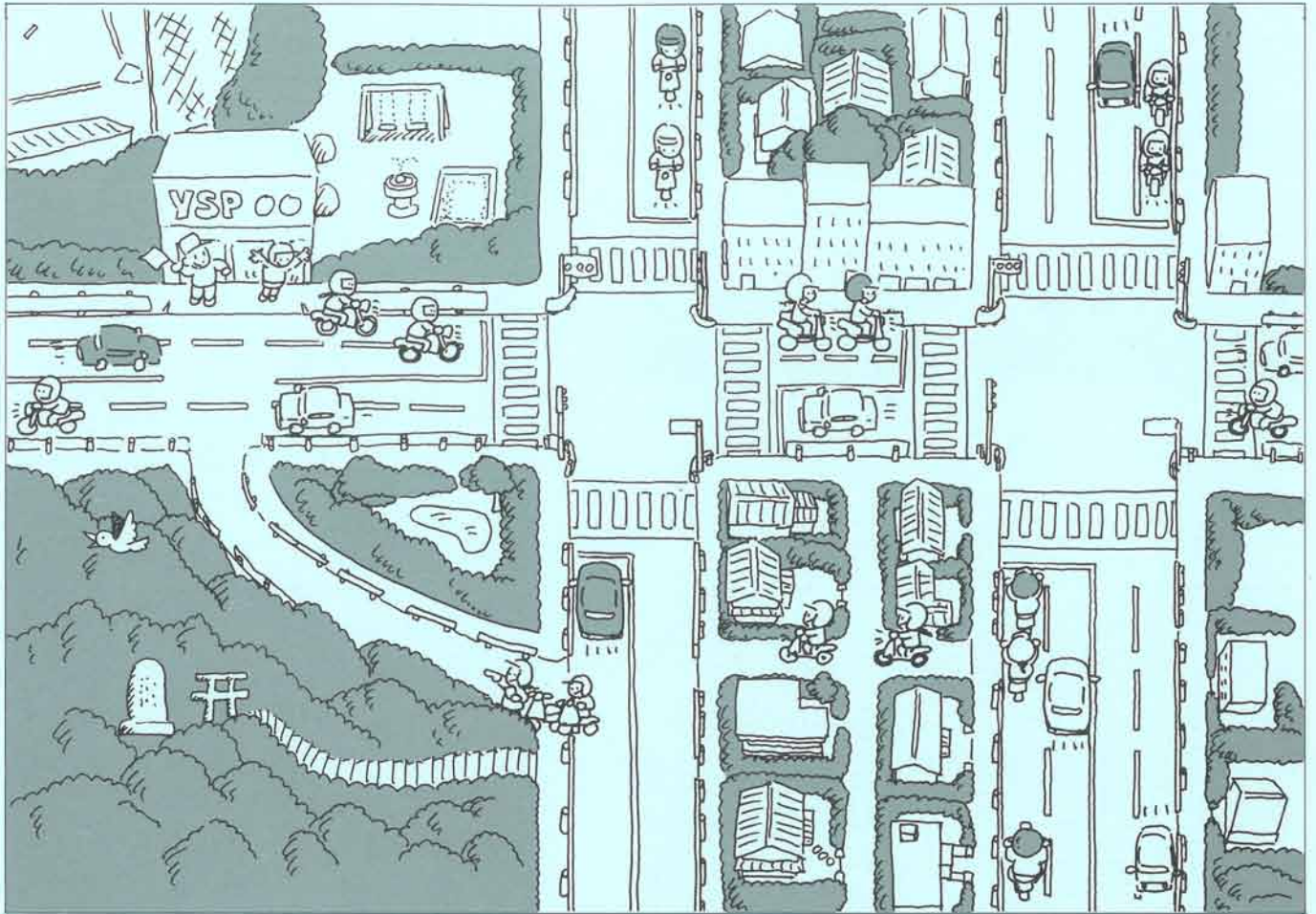
●コマ図作製

「分かりやすくなく、分かりづらくなく、が成功のポイント」

コマ図作成のコツは、なんといっても「分かりやすくなく、分かりづらくなく」です。誰でも解読できるコマ図ならゲー

ム性は薄くなり、反対に誰にも分からないようなコマ図ではゲームが成立しません。そこで図のようにできるだけ簡略したものとし、目印となる建物なども記号化すると良いでしょう。また、クイズの問題はコマ図の中に入れ、解答欄は別紙に設けると便利です。





公道を使うゲームですから、安全対策には十分な配慮をお願いします。特にレースではないことをしっかりと参加者に理解していただきましょう。またルールやマナーについての注意事項を徹底させるため、スタートの前には必ずライダーズ・ミーティングを行なってください。

ゲーム中、トラブルが起こった場合やプレイヤーが道に迷ったときの連絡先も事前に決めておきましょう。コマ図の中に電話番号を入れておくとも便利です。



●運営「プレイヤーへの安全指導を第一に」

Q1

〇×寺は、その昔交上したことがあります。さて、いつのことでしょう？

- 1 天保元年
- 2 享保7年
- 3 昭和18年

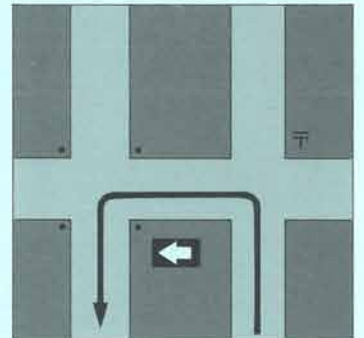
答えは回答欄に記入して下さい。



Q2

所付バイクの法定最高速度は次のうちどれでしょう？

- 1 30km/h
- 2 50km/h
- 3 60km/h



ツーリング紀行

雨に唄えば道中楽し、やね。

三重県
室生赤目青山国定公園

●月刊バイクボーイ編集長 山本弘二さん



バイクに乗り始めた頃から、僕は雨と仲良くや
っている。いわゆる「雨男」なのだ。
雑誌の編集という仕事上、この「癖」は決し
てありがたいものではないのだけれど、なにぶん
向こうがこちらを好いていてくれるようで、
博愛主義の僕としては可愛がってやる他ないとい
うところ……。

それにしてもこの好かれ様は並大抵でない。18
歳にして二輪の免許を手にして以来、シートに跨
ればまず間違いなく雨が降る。降水確率は約80%。
ツーリングの始まりから終わりまで晴天が続いた
ことは、未だかつてない。おかげで「タイヤは滑
るモノ」という感覚が身につけてしまい、たまに
晴れた日に走る機会なんかがあったりすると、逆
に慣れなくて怖かったりしてしまう。





室生赤目青山国定公園

名阪国道・針インターチェンジより、東南へ約15km。青蓮寺湖を中心に大自然が広がる。また不動滝、琵琶滝をはじめ、見どころも多い。周辺にはキャンプ場あり。

そんなわけで、先日の仕事を兼ねたツーリングもすっかり雨。行き先は、奈良県と三重県の県境辺りに位置する室生赤目青山国定公園。赤目四十八滝や青蓮寺湖、青山高原などで結構有名なこの辺りは、関西在住の初心者ライダー向けお手軽コース。ベテランライダーの中には、京阪神から鳥羽・賢島、あるいは紀伊半島へのツーリングルートに組み入れる人も少なくない。自然がいっぱいで、実にのんびりできるのだ。雨さえ降らなければね……。

豪快に走れる名阪国道を東に向かっていく頃は、結構ポカポカ陽気で気持ち良かったんだけど、針ICを降りて最初の撮影ポイントに着く頃にはしっかりとポツリポツリと落ち始め、ウエアは濡れるわ、桜は散るわ、日は射さないわ……で、写真は最悪。

取材としてはろくでもないけど、雨のツーリングはやっぱ楽しい。バイクと一緒に走ってるって気持ちが一層強くなるんやね。

情報

ブック
スクラン

時代をつかむ
さまざまな話題、情報を満載
ご商売にお役立てください

BOOK

●限らない大地、自然を求めて
『バイク海外ラリー大百科』

パリ・ダカール、ファラオ、バハ1000……などなど、海外ラリーに対する日本人の興味はますます高まってきました。それにつれ、実際にレース参戦していく人も増えていますが、バイクジャーナリスト柏秀樹氏はそんな日本人ラリーストの先駆けとなったひとり。'84ファラオラリーを皮切りに'88・'89バハ1000、'88インカラリーに挑戦し、今やバイクラリーの第一人者として知られています。その豊富な経験と知識をもとに書かれたのがこの本。実際のレース参戦手記はもちろん、マシン選びからセッティングのノウハウ、ライディングテクニックなどに至るまで、実用的な解説もたっぷり盛り込まれ、読むほどに海外ラリーへの夢が広がります。

柏秀樹・著 890円
勁文社・刊



MUSIC

●ファミコン人気音楽に波及
『オリコン・CDトップ10』

最近、超人気のファミコンゲームソフト『ドラゴンクエストIV』が発売され、またも大ヒットとなりましたが、そのテーマ曲を収録したCDも人気急上昇。NHK交響楽団の演奏による交響組曲に仕上げられ、格調の高さをアピールしているのが注目されています。

順位	タイトル	アーティスト
①	参	男闘呼組
②	Hi-King	JITTERIN' JIN
③	Heart's Deliver	薬師丸ひろ子
④	交響組曲ドラゴンクエストIV	すぎやまこういち、NHK交響楽団
⑤	Singles	酒井法子
⑥	LOVE GOES ON...	ドリームズ・カム・トゥルー
⑦	All For You	中山美穂
⑧	KOMEGUNY	米米クラブ
⑨	早熟	岡村靖幸
⑩	CUE	高野 寛

(4/9付 オリコン調べ)

COMMODITY

●花見の次は双眼鏡で慧星観察
『タスコ390BRLE』

ハレー慧星より大きな慧星が地球に近づいて来ているのをご存じですか。これは昨年12月にニュージーランドで発見され、オースチン慧星と呼ばれているもの。日本では今年4月から6月頃まで見られますが、一番見ごろはゴールデンウィークあたり。明け方、北東の空に現われます。

この『タスコ390BRLE』



390BRLE



171BRW

なら、大口径56mmマルチコートレンズを使用した高性能ダハ・ブリズムレンズ式双眼鏡なので、視界の明るさ、鮮明な解像力に優れ、慧星の尾の微妙な色あいや形まではつきり見ることができます。39000円。

このほか、視界がワイドで明るく、しかも完全防水仕様のアウトドア派向け『タスコ71BRW』（30000円）など、豊富なラインナップが揃っています。桜のあとは慧星観察ツーリングを企画してはいかがでしょうか。

お問合せ/株式会社・ジャパン
03・367・7131

YAMAHA NOVELTY 1990

ヤマハから心を込めてみなさまへ

木々の緑が日増しに濃くなってきました。ゴールデンウィークを皮切りに、さまざまなレジャーを楽しむ絶好のシーズンの到来です。お気に入りのバッグをひとつ抱えて、軽いフットワークで出かけたくださいね。今回は、そんなシーズンにピッタリのバッグをご紹介します。活動派のお客さまにお勧めください。



■ビジネスバッグ
(No.371099 / 13000円)
上品な落ち着いたデザインですから、ビジネスマンや大学生にピッタリ。ちょっとした出張や旅行の時に大変便利。ブリーフケースなどを合わせて使えば、より機能的です。



■ダブルバッグ
(No.371020 / 5800円)
何でも詰め込めるダブルの収納力。ガシリ丈夫な作りですから、ツーリングにキャンプに合宿に、大いに威力を発揮します。



■キャリングポーチ
(No.371027-9 / 2200円)
いろんな小物を持ち歩くのに便利なハンディサイズ。大型のダブルバッグと合わせたスポーティなイメージが魅力です。カラーは赤、青、緑の3色。



■スリーウェイバッグ
(No.371026 / 6000円)
ビジネスや通学、旅行など、どんな用途でもマッチするカジュアルなバッグ。そのうえ、ハンド、ショルダー、ティバックと3通りの使い方が可能。耐久性にも優れています。

植物栽培も

コンビニ一気分でお手軽に

世の中、本当に便利になりました。科学技術の進歩によって、身のまわりのありとあらゆる物が省力

化、効率アップをめざして開発され、私たちが直接手をくだす手間も時間も驚くほど軽減されています。

す。電車、ワープロ、電子レンジ、洗濯機といった家電製品やインスタント食品、レトルト食品などがその代表。

ところがボタンひとつで、あるいはお湯をかけるだけで用が足りるようになったのは、こうした便利品にとどまりません。都市部では大変貴重なものとなった緑の植物を、自宅で趣味的に栽培する人が増えてきていますが、それさえもバイオテクノロジーの発達と商品開発の進歩でインスタント化されてしまいました。土と肥料、添加薬剤、種が箱や缶、袋にパッケージされていて、あとは水をかけるだけで、芽が出て花が咲く、といった具合。テレホンカードのようなものに種だけをパックし、カードごと土に差し込んで水をやればいい、という新商品も発売されています。

そのおかげで、キレイ好きの子の子でも手を汚さずに、しかも手間なく草花栽培ができるようになりました。これらはファンシーショップや雑貨店に並べられ、いわゆる園芸とは縁遠かった若い男女の人気を集めつつあります。

そのうえ、花だけでなく「中国野菜」や「カナリアなす」などの育てたあとで食べられる野菜もあるとなれば、クリーン、リッチ、ヘルシーがキーワードと言われる今ふうヤングの好みにうまくマッチした商品かも知れません。なかには、単価が100円前後のものもありません。店名を入れてお客さまへのプレミアムに使ってみてはいかがですか？

どーもかーにも
スピード商売
マテラマセ〜ン



高校生と大学・社会人 長期休暇も カネしだい?



5月に入るとすぐにゴールデンウィークが始まり、8月には夏季休暇という長期休暇が控え、レジャーを楽しむのもってこいの季節になりました。せっかくの長い休日、いつもの週末とは違った方法で楽しみたいと思うのは人情ですが、10代、20代のヤングは実際にどう過ごしているのでしょうか。

総理府が'88年11月に行なった調査では、週末の過ごし方について、15歳〜19歳が友人などとの交際、テレビ、ラジオ、新聞を楽しむ、と答え、20歳〜29歳はこれに加え、飲食、ショッピング、ドライブ、と答えています。これに対して、3日以上の連続休暇の場合、19歳以下はほとんど変化がないのに比べ、20歳以上、特に25歳までの人は、日帰りレジャー、宿泊旅行、ドライブ、に出かける割合がぐっと増えています。

これは、19歳以下、つまり高校生たちが学校外でも仲間との付き合いを大事にしていることの証明でもあります。『宿泊旅行』を

したいと望んでいるケースも大変多く、20歳以上の大学生や若い社会人と、傾向はよく似ています。ただ、高校生は大学生や社会人と違って、金銭的な余裕がない。うえに、クルマやバイクなど手軽に移動できる手段をもたないことが、最大のネックになっているといえるでしょう。

特に金銭面では、高校生が1か月に5000円〜1万円の小遣いしかないのに比べ、大学生・社会人は3万円〜5万円とケタ違い。これではなるべくお金を使わないように遊ぶしかありません。逆にこうした高校生活を過ごしてきたために、大学に入ったならアルバイトして、就職すればボーナスを使って、どこか遠くへ出かけたくなるのかも知れません。

その意味では、高校生は近くで遊ぶのに便利なモノ、大学生以上には遠くへ足を伸ばせるモノが休暇を楽しむうえで必要なアイテム。バイクの使い方にも、その傾向が表われているのでは？

元気印

5

ひとりじゃ恥かしいから
ふたりでお願いシマス!

西原美保子さん/蒲池繁子さん

(YSP広島南/広島県広島市)



「恥かしさ」はどこへやら?の美保ちゃん(左)とお繁ねえさん

これまで毎月ひとりの女性スタッフにスポットをあててご紹介してきたこのコーナーですが、今回は取材をお願いした西原美保子さんが、「ひとりじゃ恥しい」と、急撮一緒に働く蒲池繁子さんに助っ人として登場していただきました。

西原さんは夜間学校に通っていた頃から同店に勤める、職歴4年のベテランスタッフ。蒲池さんは同店社長の蒲池毅さんの奥さまで、昭和59年に店をオープンして以来、昼はお店の事務、夜は家事をこなし社長をささえてきました。2人は職場でも「美保ちゃん」「お繁ねえさん」と呼びあう仲の良い名物コンビです。

西原さん
学生の頃のバイト先の店長と蒲池社長が知り合

いで、店長の紹介でYSP広島南に来たんです。実は以前にこの店でスクーターを買ってはいませんが、オートバイには全く興味がありませんでした。男性の乗り物、と思ってましたから。でも今はちゃんと乗ってます。'89年型のTZR250です。

私背が低いので、社長さんにシートを下げてもらったんです。それでもやっつと、ですけど。周りの人は私のことをスピード狂だの色々と行ってますけど、他人の話というのは大きくなってひとり歩きするものから…。

ここに勤めだしてオートバイに乗るようになってから、私ずい分と変わったようです。行動半径が広がったため、よく出掛けるようになったし、服装もジーパンが多くなりました。それまでジ

パンはく機会はなかったから。でも、ジーパンで困るんですよ。何かって体形が分っちゃうでしょ、お腹とかおしりとか、ね。これはいけない!と思ってダイエットを心がけています。効果はあったのか、ないのか…。食事を減らしても、その後甘い物食べちゃいますからね、ハハッ。

蒲池さん

美保ちゃんがうちに来たときはまだ学生で、あどけなさが残って可愛いらしい!という感じでした。でも今はずい分綺麗になっちゃいましたね。彼女がお目当てで来店する男性客も結構多いと思いますよ。私ですか、コブ付きはダメですよ(笑)。早まったかな?

お店の事務処理は彼女ひとりで全てこなせる程、なんでも良く覚えて動いてくれます。スタッフが探し物をするときでも、彼女に聞けばすぐ出てくる。「魔法の美保ちゃん」と呼ばれてくるくらいです。接客も得意で営業成績はトップじゃないですか。話し上手聞き上手で、さすが最古参ですね(笑)。私もできるだけお店にいて彼女の負担を軽くしてあげたいのですが、子供が2人もいるとなかなかそうもいなくて。私の両親も商売をしていたのですが、自分の経験からいっても、なるべく子供と一緒にあげた方がと考えていますから。現在は午前中はお店、夕方は家庭とあわたい毎日。社長の奥さんの仕事を、従業員が手伝う普通のパターンと、うちは正反対。彼女に頼りっぱなしですわ。

現在、

西原さんは普通免許を、蒲池さんは中型免許を取得するために教習所通いをしていますが、手間がかかるハズの普通免許に挑戦している西原さんが大きくリードしているとか。しかし、取材中の茶化し合いは、「いい勝負」のようでした。ふたりのやりとりを聞いてテレ笑いをする蒲池社長のもとで、のびのびと仕事を楽しむコンビでした。

ご商売ヒント&ヒント

5

お客さまを魅きつけ、お店をグッと魅力的に見せるためのヒント集です。初歩的な内容でちょっと物足りないかも知れませんが、どんな活動にもそれぞれ基本はあるものです。お店のオリジナリティを加えて、さらに有効なものとしてご活用ください。

商品の持つ個性をぶつけ合う

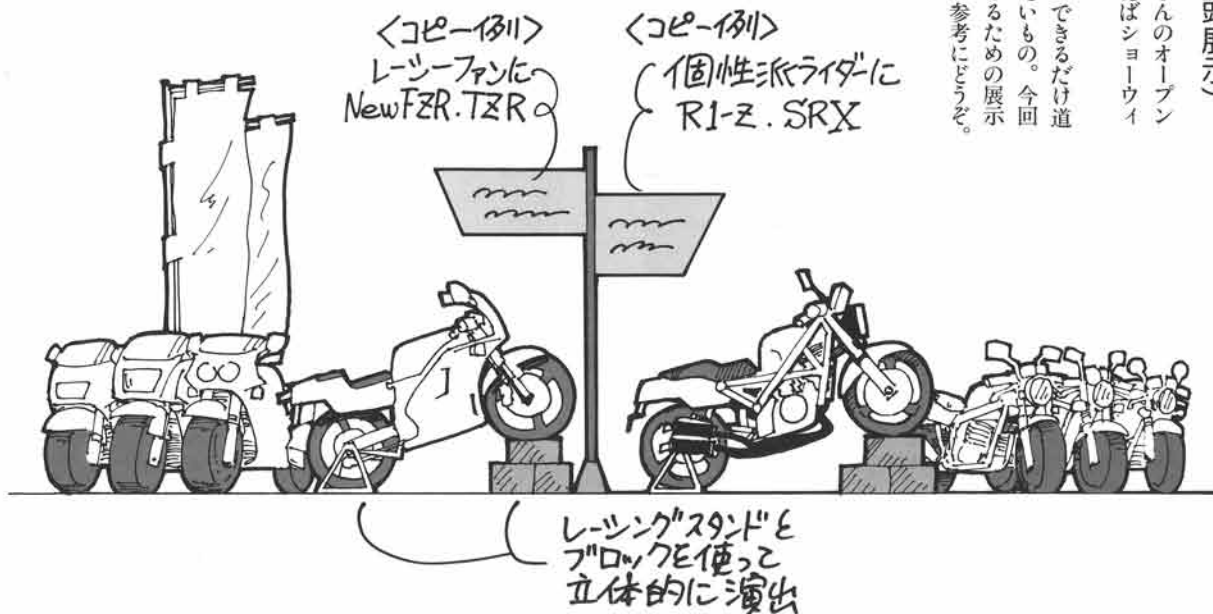
ショールーム同様に演出に工夫をこらしてもらいたいのが、このオープンスペース。

広さの違いはあれ、ともするとバイクを詰めて雑然と置きがちですが、これでは、たとえ全てがニューモデルであってもお客さまに訴える力は半減してしまいます。

バイクが持つ、それぞれの個性をきちんと

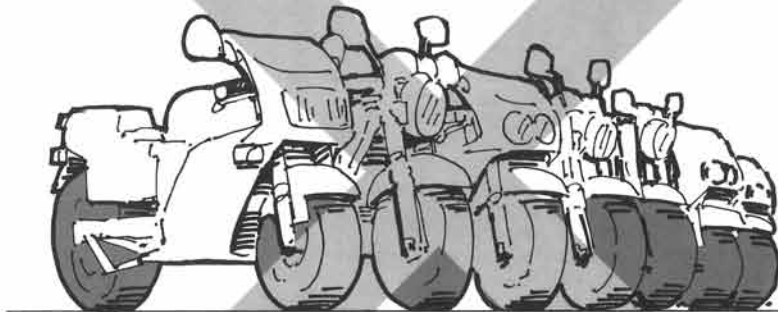
分類し、違う個性のもの同士を引き立てる演出はいかがでしょうか。

また、オープンスペースが限られたお店では、店頭に出す車種の個性を描いて、セールス時期に応じて、店内展示バイクと入れ替えて演出するのが効果的です。



※オープンスペース 活用の注意

- 縦列に商品を並べても、お客さまから見える部分はフロントだけ。ネイキッドモデルの場合は、特に個性の演出が難しくなります。商品の全体像をしっかりと見ていただくために、横向きの展示を心がけてください。
- オープン展示は、お店の敷地内で行いましょう。どんなに美しく並べてあっても、歩道に商品がハマり出しているようでは、道行く人たちに悪印象を与えてしまいます。交通の妨げにならないよう、十分な注意をお願いいたします。



見せる、魅せる

オープンスペース活用(店頭展示)

店頭はお店の顔。二輪車販売店さんのオープン展示スペースは、ブティックでいえばショーウィンドーと同じです。

ただ単に商品を並べるだけでなく、できるだけ道行く人たちに興味を持ってもらいたいもの。今回は、美しく、シッカリと商品を見せるための展示の工夫について考えてみました。ご参考にどうぞ。

毎日ハツラツとお店を盛り上げる
サービスマン奮闘記

バイクとライダー両方に セーフティメンテナンスを!

本格的なシーズンを迎え、待ちかねたように多くのライダーが活動を始めています。マサノブ君の仕事もそれにつれて忙しさを増し、毎日が大変充実していると語っています。今日も彼は元気に店頭でガンバッティングしています……。



○月×日——本当に気持ちのいい季節になってきた。今年は桜前線の北上が

すこく早く、東京でも4月上旬にはすでに散ってしまい、とうとう花見のタイミングを逸してしまったほど。ついこの間までは雨が多かったり、寒のもどりがあつたりして洗車するのもちよつとつらい日があつたが、この頃は天気がいいと洗車するのがすこく楽しい。寒かった頃はホースを持つ手が震えて、水があちこちに飛ぶので体がビシヨ濡れになったんだけど。

春の光が、洗いたての車体に反射してキラキラ光る。まったくいい気分だ。

○月×日——今日は修理車の入庫がとて多い日だった。事故車も一台混じっている。バイクに乗っていればいろんなことがあるし、トラブルもないとは言えない。

だけど、できる限り安全にトラブルなく乗ってもらえるようにすることがサービスマンの務めだと思う。それは単にバイクという乗り物のメンテナンスサービスマンに限らず、ライダーも含めたトータルな意味でのサービスマンだ。といって、まだ経験の浅いボクに何ができるかはわからない。今は確実な整備を積み重ねていくことと、安全運転のアドバイスを心掛けていきたい。

しかし、それでも今日は仕事を定時までになしきれず、閉店が遅くなつてしまった。すると社長がボクたちにピザを取って、ごちそうしてくれた。うーん、うまかった! 明日もいっ

ようガンバルぞ!

○月×日——ひとりで車検に行ってきた。いつもは先輩と一緒にだったので気が楽なのだが、ひとりで行くのはまだ2回目。さすがに緊張してしまった。いつもより20分ほど早く店に出て、車体の最終チェックと暖機をして、練馬の車検場へ向かう。一番苦手なのはライトテスト。テスター屋さんで調整してもらった時のように、光軸がきちんと規定のライン上に乗らなくてはいけないのだが、これがなかなかうまくいかないのだ。以前に一度だけここで落ちたことがある。

しかし、今回はすんなり無事通過。自信はあつたものの、いまだにこればかりは気が気じゃない。意識過剰なんだな……。ああ、良かった!

○月×日——ニュージヨグを納車。お客さんは、初めてスクーターに乗る人だったので、急発進に注意してくださいね、と一言つけ加えておいた。以前自分が初めてジヨグに乗った時、思いがけない加速力に驚いたことがあったからだ。ミントなどはそうでもないけれど、最近のスポーティなスクーターは見かけ以上にパワフルだから、たかがスクーターだとバカにしてラフなアクセル操作するのは禁物だ。クルマやスポーツバイクだと、割合い慎重に運転する人でも注意が必要だろう。今後、スクーターの納車の時は必ずアドバイスすることにしよう。

'90ヤマハカップレディスオープン 高須愛子が大会初優勝

国内女子ゴルフツアー序盤戦最大の大会「'90ヤマハカップレディスオープン」が、4月5日から8日の4日間にわたり、静岡県掛川市・葛城ゴルフ倶楽部山名コースを舞台に開催されました。この大会は、ヤマハ発動機株、ヤマハ株、ヤマハレクリエーション株のヤマハグループが主催するもので、今年で6回目。



拍手と歓声に笑顔で応える高須選手



ヤマハグループを代表して、川上源一会長より優勝賞金が手渡された

例年、国内外のトップゴルファーが多数参加、昨年の森口祐子をはじめクリス・ジョンソン、樋口久子、吉川なよ子、塗阿玉の5人が歴代優勝者に名を連ねています。今年も、森口や高須愛子、中島恵利華、黄壁洵、安井純子など実力派がズラリ。最終日まで目の離せない白熱した戦いが展開されました。

特に、2年連続優勝を狙う森口と高須の優勝争いは3日目までまったくの互角。しかし、最終日雨と風に悩まされた森口はスコアを崩し、ねばり抜いた高須が見事に優勝、賞金900万円と副賞のヤマハ小型モーターボート、スターエース・V IIなどが贈られました。

R1-ZやV MAX1200に人気集中！ 東京モーターサイクルショー

毎年、バイクシーズンの到来を告げるイベントとして開催されている「東京モーターサイクルショー」が、今年も3月16日～18日の3日間、東京・平和島の東京流通センターで開催されました。

中心に大人気。ステージ上のR1-Zをあちこちからのぞき込む熱心なファン、フロアのFZR400RRやTZR250にまたがってみるヤング、あるいはまぶしそうにV MAX1200を見つめる方など、常にファンの人垣が絶えませんでした。

今回は、出展車や来場者数の増加から、会場を2つに分けたにもかかわらず、場内は例年とおりの大盛況。特に、今年もニューモデルをズラリ展示したヤマハブースは、発売を目前に控えた話題のR1-Zと国内販売が開始されたV MAX1200を



サロマ湖で氷上ATVレース ヤマハ車が2時間耐久で優勝!



一面が氷に覆われたサロマ湖の上をATVで疾走するユニークなレース『オール北海道サロマカップATVレース』が、3月4日、佐呂間町観光協会、オホーツクATV協会の主催で開催されました。

このレースの特徴は、何といても舞台がツルツルの氷の上ということ。またにもマシンをコントロールするのさえ難しく、カウンターステアあり、スピンありの大アクションが随所に見られます。

こうしたアイスレースならではの

おもろさが人気を呼んで参加者は年々増え続け、9年目になる今回は約60台がエントリー。家族ぐるみでの参加も多く、アットホームな雰囲気の中で今後ますます人気が高まることでしょう。

さて、今回は5クラスのレースが行なわれましたが、メインレースの2時間耐久には、ヤマハチームがYF350Zパンシーで出場。2人のライダーが絶妙のコンビネーションを見せて、見事な優勝を飾っています。



ヤマハVK540が初の 国際スノーモビルラリーを制す!

カナダの大雪原を走破する、初の国際スノーモビル耐久レース『第一回ハリカナ国際スノーモビルラリー』が、2月26日から3月8日の11日間 にわたり開催されました。このレースは、環境保護、耐久力、安全、そしてチームワークをモットーに運営され、人と自然との調和などを目的としています。その主旨に賛同した出場者の中にはバリ・ダカでおなじみのH・オリオールとC・ヌブー組もいて、彼らは8位に入賞しました。

コースは、モントリオールからケベック、ラディソンにわたる全長2

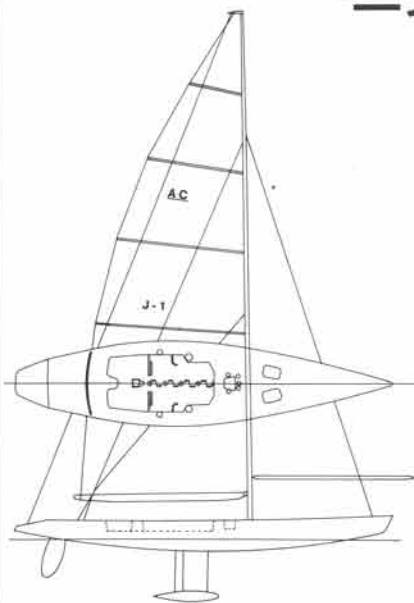
500km。そこへライダー3人、スノーモビル3台、ソリ台で構成されたチームが一致協力して挑みます。全員が一斉にスタートし、各チーム最後に到着したメンバーのタイムが成績となりますから、まさしく総力戦。

その第一回優勝チームに輝いたのは、ケベック州のヤマハディーラーチーム。VK540のポテンシャルと、抜群のチームワークを実証しました。

このほか、ヤマハスノーモビルを使った7チームも上位入賞を果たしています。



次回アメリカズカップをめざし『ニッポン』1号艇が進水



昨年9月からヤマハ新居工場で建造を進めていた、次回アメリカズカップの挑戦艇「ニッポン」1号艇が2月に完成。愛知県蒲郡のニッポンチャレンジ・ベースキャンプに移されたあと、予定通り4月22日に進水式を行いました。

この艇は、カーボン繊維とハニカム芯材を用いたサンドイッチ構造の艇体を持つ、最新テクノロジーの粋を集めた日本最大、最新鋭のレーシングヨット。ニッポンチャレンジア



メリカ杯1991委員会の山崎達光会長も「現在、コンピュータ分析の結果ですべてに完成しているフランス、イタリアの艇に比べても自信が持てる」とコメントしています。

夏には2号艇の進水が予定され、レース本番に備えて着々と準備が進行中です。

『花の万博』で大活躍 太陽電池動力カクリーニングボート

ヤマハでは、三洋電機株式会社と共同でアモルファス（非結晶）シリコン太陽電池を動力に利用したソーラーボート「アモルトン フラワー号」を開発、大阪で開催中の『国際花と緑の博覧会』に登場させました。

これは、花博会場の大池に浮かべ、浮遊するゴミを回収したり、補助救命艇として使われています。艇体は横安定性に優れ、中央部が空洞になり浮遊ゴミを回収しやすいカタ

マラン船形。またデッキ上のスペースも広くとれるので、作業性にも優れています。

太陽電池からバッテリーに蓄えた電力により、モーター（ヤマハ電動船外機M15）を駆動し水面を軽やかに走る姿はまるで「みずすまし」。

まさしく、「自然と人間の調和をもとに、潤いある豊かな未来を創り出そう」という花博のテーマにぴったりのソーラー・ボートです。



楽しいバイクライフをめざし 台湾でもYESSSが大好評

今、台湾では経済的な好況を背景に、モーターサイクル市場も大変な活気にあふれています。保有台数は700万台、一家で平均1.4台のバイクを持っている計算です。しかしその80%はスクーターで、使用目的も実用面がほとんど。

そこで、ヤマハの現地法人YMTでは日本同様YESSSを組織し、スクーターレースやチャレンジ3000キロ、ツーリング、キャンプなどさまざまな遊びのイベントを開催、楽しいバイクライフの提案に力を注いでいます。今年1月に行なわれた『YESSSメンバーズミーティング'90』も「T・T・AIRA」もそうした活動のひとつ。



台湾でも平選手の人気はバツグン。会場に華を添えた。



これは、台湾でも大人気のGPRライダー平忠彦選手を招いて3日間、3カ所で行なわれ、延べ150名のスタッフたちが参加。平選手とのティーチインやクイズ、抽選会などで大変な盛り上がりを見せました。

また、ワールドFZRコーナート銘うって、YZF750からFZR1000/750/400RR/250Rをズラリと展示したほか、用品コーナー、YESSSコーナーなども設けられ、いずれも大好評。今後ぜひこんなイベントをやってほしいと望む声がいっぱい聞かれました。

●全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

4月7・8日/茨城県筑波サーキット

町井邦生+YZR500 500cc初優勝で緒戦を飾る!



日本GPから調子の良い町井。チャンプ獲得へ周囲の期待も大きい



A級昇格後TT-F1クラスに参戦し、その年いきなり2勝を挙げ、ランキング3位。その後も国際格レースで外人勢と対等以上の走りを披露した町井選手。昨年念願の500ccクラス参戦を果たし、周囲がそして本人も待ち望んだ1勝を、'90シリーズ緒戦で飾りました。

●世界選手権ロードレース第2戦アメリカGP
4月8日/ラグナ・セカ

レイニー& コシンスキー 圧勝! チームマールボロ・ロバーツ USGPを制覇

アップダウンのきついラグナ・セカを攻めるW・レイニー

●GP500クラス

K・マギーのスタート直後の転倒で赤旗が出され、やり直しとなった二度目のスタートで、W・レイニーはめずらしくスタートに失敗。K・シュワンツにリードを与えてしまいました。それもほんの僅かの間。6周目にシュワンツをかわし、トップに浮上。シュワンツはレイニーのペースについて行けず、24周目ハイサイドを起こし、リタイア。結局レイニーは2位に30秒もの大差をつけて、USGP2連勝。シリーズも、日本GPに続く連勝で、ランキングポイント40。チャンプ獲得に向けて快進撃を続けています。



●GP250クラス

第1戦日本GPでチャンパーの破損というアクシデントに見舞われたJ・コシンスキーですが、地元ラグナ・セカではその実力を遺憾なく発揮しました。

2周目にトップに立ったコシンスキーは序盤で独走体制を築き、その





'90 FZR400RR・SP デビュー戦を ポール・トゥ・ウィンで飾る!

●中山ロードレース選手権シリーズ第3戦SP400クラス
3月18日/岡山県中山サーキット

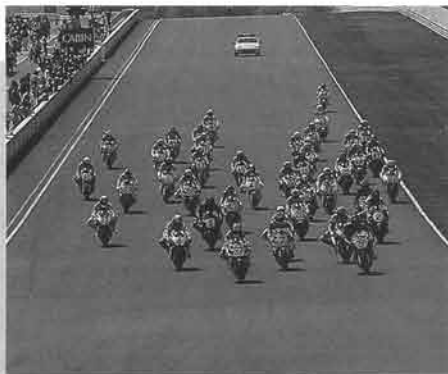
あいにくの雨で悪コンディションの中、序盤4番手につけた町井選手は徐々に順位を上げ、12周目の第一コーナーで遂にトップに浮上。その後も伊藤選手とバトルを展開しましたがこれを退け、2位に10秒以上の大差をつけての快勝でした。

予選2番手を獲得したものの、決勝ではいま一步のところで調子を出せず、惜しくも7位に甘んじました。250ccクラスでは市販車ベースのTZを駆る原田哲也選手がワークス勢を相手に5位入賞を果たしました。V奪回を狙う本間利彦選手は7位でフィニッシュしています。

'90 FZR400RR・SPにとつて、中山シリーズデビュー戦となった第3戦、Team Spinach HRC甲子園からエントリーした小川秀也選手のマシンが、2番手に10秒以上の大差をつけての独走優勝を果たしました。

同シリーズ第1戦でも優勝している小川選手は「パワーも充分で、しかも旋回性能が優れている。ラインの自由度がきく、より実戦的な仕上がりで、とても頼もしいパートナー」と絶賛。

改造範囲が狭いこのクラスでの勝利は、'90 FZR400RR・SPのハイポテンシャルを実証しています。今後も各部のセッティングが進められるにつれ、さらなる活躍が期待される中、各地方選手権でFZR400RR・SPは台風の目と、大きな注目を集めています。



'90 SUGO TTフォーミュラ FIMカップレース 開催

すっかり春の一大レースとして定着した「SUGO TTフォーミュラFIMカップレース」が、今年も5月11日から13日まで、緑鮮やかなSUGO国際レーシングコースで開催されます。

TTフォーミュラFIMカップシリーズの第1戦にあたるこのレースには、OWO1を駆るビーター・ゴタード選手をはじめとする国外ライ

2台のマルボロカラーのYZRが1・2フィニッシュを達成した250ccクラス



ままチエッカー。レイニーとともに、USGP2連勝を達成しました。一方日本GPの覇者、L・カダローラは、スタートで出遅れたものの、5周目には2位に浮上。コシンスキーにはおよばなかったものの、2位入賞。ポイントも37とのばし、ランキングトップをキープしています。

ダーが多数出場する予定。もちろん全日本勢も、YZF750を駆る永北、加藤両選手などが国外ライダーを迎えようちます。

このレースの見どころは、一般的なスプリントレースとは違い、周回数50周という長距離を走るところにあります。給油のためのピットインのタイミング、または無給油で走り切るのが、ピットの駆け引きにも、ライダーの走り同様の見応えがあります。

また全日本選手権、500、250、125クラスも併催されるなど、密度の高いこのレース。当日は新しいYESSステーションも応援に駆けつけますので、お店のイベントとしてぜひお客さまと一緒に来場ください。

●観戦チケット(前売り) 大人3700円、ベア7000円(当日) 大人4200円、小人1100円 詳しいお問合せは ☎0224-8313120 TTフォーミュラ係まで

SAFETY

今年も『第3回二輪車セーフティスローガン』を募集!

ヤマハでは、広くライダーのみさんの安全に対する自己啓発、相互啓蒙意識の向上と、バイクに対する全ての人々の正しい理解を求めるため、88年から『二輪車セーフティスローガン募集』キャンペーンを行っています。昨年は、全国から1万1569通という一昨年の2倍近い応募をいただき、みなさんの意識の高まりが如実に反映されたと言えるでしょう。

そこで今年も『We Like Nice Rider・みんなで考えるセーフティライディングの合言葉』をキャッチフレーズに、5月1日よりスローガンの募集を行いません。ぜひお店のみなさまやお客さまにご案内のうえ、多数のご応募をお願いします。

●期間/5月1日～7月31日(当日消印有効)

- 主催/全国YESSSショップ会・住友海上火災保険㈱
- 後援/ヤマハ発動機・ヤマハ安㈱ 全運転推進本部・全国ヤマハ会
- 応募部門/(A)学生男性の部(B)学生女性の部(C)一般男性の部(D)一般女性の部

●応募方法/官製ハガキ、または応募ハガキに、応募部門、スローガン案(50字以内・1枚に1作品)、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、何でキャンペーンを知ったか、を明記のうえ、〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機㈱内 YES本部事務局「セーフティスローガン係」までお送りください。

- 賞典/最優秀賞・各部門1名 優秀賞・各部門3名 優良賞・各部門3名 佳作賞・各部門5名

SERVICE

お店の心配りを お客さまの目に見えよう!

サービス業務の繁忙期を迎えました。

心のこもったサービス提供で、お客さまの信頼に応えたいですね。自分の大切な愛車が、お店でどうい

扱いをされているか、お客さまはとも敏感です。『入庫管理ボード』や『愛情カバー』を活用し、作業管理の確かさをさりげなくアピールしてください。

YES

YESSSカードに新機能が登場します。

YESSSショップのみなさまはもちろん、YESSSスタッフのお客さまからも強く望まれていたスタッフカードのクレジットカード化が、UC/VISAとの提携により実現。6月より『YESSS UC/VISAカード』が登場します。

新カードにはスタッフのバイクライフを広げるクレジット機能を付加。スタッフの満足度を向上するとともに、YESSSショップのご商売と活動を時代にマッチした幅広いものとしてまいります。なお、新カード導入についての詳細は、後日担当セールスマンよりご案内致します。

ステージ機能を加えて新登場!

'90YESSSステーション

さまざまなYESSSイベントやビッグレースの会場で、YESSSスタッフをはじめとしたライダーのみなさんへの情報発信基地として活躍中のYESSSステーションですが、今年はこのままで以上の活動を展開してゆ�ため、さらに機能をアップした'90バージョンを登場させました。3月25日の日本グランプリ(三重県・鈴鹿サーキット)でご覧になった方も多いと思いますが、最大の特徴はガルウイング式に開くステージ機能がついたこと。4トン車の荷台全面プラスチックの広さに、12面のマルチビジョン、音響設備を完備。ニ

ューモデルの展示や各種アトラクションステーションとして、今後様々な展開方法を企画しています。



KARIT

FIIDOLEESを始めたい人にレーシングスクール開催!



●サービスマニュアル(5月新刊・追補分)

商品名	注文No.	メーカー希望小売価格
RS90	391175	1100円
YA50	391178	2600円
FZX750・追補	391180	400円
CY50D・追補	391181	400円
CY50Z・追補	391182	400円

●YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

会場	5月	6月
北海道ヤマハ		
ヤマハ東北		
研修センター 東京	[2M] 9-11 [B] 15-17 [B] 22-24	[B] 5-7 [2M] 20-22 [4M] 26-28
研修センター (ヤマハ中部)	[B] 9-11	[2M] 6-8
研修センター 神戸	[2M] 8-10 [B] 15-17	[B] 13-15 [2M] 21-23
ヤマハ中国	福山 [B] 15-17 広島 [B] 16-18	松江 [B] 5-7 岡山 [B] 12-14
ヤマハ四国		松山 [B] 12-14
研修センター 福岡	[2M] 16-18	[B] 13-15

B: ベーシック 2M: 2サイクルマスター
4M: 4サイクルマスター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。



じっくりレースを堪能する
モトクロス&ツリーリングカー

スポーツランドSUGGOは、モーターサイクル&モータースポーツのメッカ。今シーズンも各種のカテゴリにわたって数多くのレースを開催しています。

その中で、5月には世界TTT-F1(詳しくは31ページをご覧ください)をはじめ、全日本モトクロス選手権第6戦や全日本ツリーリングカー選手権第2戦といったビッグレースが目白押し。お好みに合わせて、お客さまと一緒に観戦ください。

●全日本モトクロス選手権第6戦
日程/5月26日・27日
観戦券/前売 おとな21000円
ベア 40000円

●全日本ツリーリングカー選手権第2戦(SUGGOグループA300km)
当日 おとな26000円
子ども11000円



日程/5月19日・20日
観戦券/前売 おとな42000円
ベア 80000円

当日 おとな50000円
子ども11000円



5月のヤマハ提供番組

■ONANDOFF

海と陸、2つのフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドを、スポーツマインドたっぷりみなさまにお届けする話題性豊かな番組です。さまざまなカメラワークを駆使した美しい映像と、選ばれたBGMで、くつろぎのひとつときをお楽しみください。

▼5月5日(ヘマリン編)

▼彼女(海の教官)

▼5月12日(ヘバイク編)

▼DAYTONA200

▼5月19日(ヘマリン編)

▼ニッポンチャレンジ/新アメリカスカップ艇進水

▼5月26日(ヘバイク編)

▼ミニバイク新時代/MP-16・No.1 CUP

※一部地域では放送日が異なります。テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち/毎週土曜日18時30分から19時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時。東日本放送/毎週土曜日23時30分から23時45分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。RKB毎日放送/毎週日曜日24時10分から24時25分。

カートレースのニューカテゴリー

「F100サーキットカートレース」は、今年で4年目を迎え、全国7会場41大会が開催されるなど大変な人気を集めています。お客さまの中にも、一度体験してみたいと思っていられる方も多くいらっしゃいます。そこで、ヤマハではこうした初心者を対象に「F100レーシングスクール」を開催します。

●日程/6月10日、7月15日、8月

5日、9月9日、11月25日

●参加資格/16歳以上の方(20歳未満の方は親権者の承諾が必要です)

●会場/那須エクスプロラサーキット(栃木県黒磯市)

●受講料/17000円(マシン持ち込み者は12000円)

※お問い合わせ、お申し込みは、コム・プロダクト(☎022-386-2278)まで。

■新番組

『スポーツジョッキー
中畑クンと徳光クン』

4月から放映が始まったスポーツバラエティ番組です。キャスターには元人気プロ野球選手・中畑清さんと、名アナウンサー・徳光和夫さんを起用し、日曜日の朝をさまざまな楽しいスポーツ情報で盛り上げます。日本テレビ系全国ネット・放映日/毎週日曜日 放映時間/10時~10時55分。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界
世界各国で精力的に活動を続けている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆっくりとお楽しみください。
テレビ朝日系全国12局ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

春のレジャーシーズンへ向け 交通安全活動も活発化!

風薫る5月、すっかりレジャーシーズンになりました。ゴルフデンウィークを利用して、旅行やツーリング、キャンプなどに出かけられた方もきっと多いことでしょう。これからの季節は、こうした楽しみを台なしにしないよう、行き帰りの安全運転が大切。交通安全のキャンペーンや運動も最近盛んに実施されています。例えば、二輪車の昼間点灯や不正改造防止、四輪車へのシートベルト着用を訴えてきた社団法人自動車工業会は、4月2日から新たに『90年交通安全キャンペーン』を展開。

引き続き『見る、見られる、いい運転』をスローガンに、二輪車の昼間点灯、カーブや交差点での減速走行を訴えていくとともに、四輪車に対しても『きくばり、めくばり、いい運転』をスローガンとした安全運転を呼びかけていくことになりました。

加えて『春の全国交通安全運動』や、YESSの『二輪車セーフティスローガン募集』なども始まり、町のあちこちで、あるいはテレビ、ラジオ、新聞、雑誌といったマスコミ媒体で見聞きすることがグッと多くなりそうです。

また、交通安全に関連したイベント、講習会も各地で開催され、効果をあげていますが、これらに携わる安全運転指導員、特別指導員の優秀者表彰が、3月27日に行なわれ、全国98名の方に感謝状と記念品が贈呈されました。



■優秀二輪車安全運転指導員、特別指導員表彰受賞者のみなさん

北海道 (特別指導員)	中川重人
(特別指導員)	本間肇陽
(指導員)	岡島秀明
青森 (特別指導員)	今井真史
(指導員)	田端武治
岩手 (特別指導員)	内金崎蔵佐
(指導員)	中村巨利
宮城 (特別指導員)	佐藤祐樹
(指導員)	庄司三夫
(指導員)	佐々木昭喜
秋田 (指導員)	松岡文紀
山形 (特別指導員)	高橋良一
福島 (特別指導員)	菊地武男
(指導員)	寺島勝義
東京 (特別指導員)	橋本善明
(指導員)	吉野真章
(指導員)	長澤功二
茨城 (指導員)	黒沢清司
栃木 (特別指導員)	小島雄三
(特別指導員)	黒羽豊
群馬 (特別指導員)	柳井源八
(指導員)	佐藤弘巳
埼玉 (特別指導員)	中田敏雄
(特別指導員)	山田喜則
(指導員)	塚越一二男
千葉 (特別指導員)	小松敬治
(特別指導員)	北郷正行
(指導員)	植草和男
神奈川 (特別指導員)	高泉武男
(特別指導員)	大村智恵子
(特別指導員)	水沢昇
新潟 (特別指導員)	伊藤一男
(指導員)	中村良治

新潟 (指導員)	斉藤廣司
山梨 (特別指導員)	剣持利正
(指導員)	藤一夫
長野 (特別指導員)	吉田詔一
(特別指導員)	小林ちづ子
(特別指導員)	神田芳誉
静岡 (特別指導員)	永住博三
(特別指導員)	佐藤隆三
(指導員)	菊田佳昭
富山 (特別指導員)	作道邦夫
石川 (指導員)	東真一郎
福井 (指導員)	高井幸一
岐阜 (指導員)	伊藤幸男
(指導員)	堀栄一
愛知 (特別指導員)	森村彰隆
(特別指導員)	柴田憲一
三重 (指導員)	村山定男
(指導員)	金谷勇彦
滋賀 (指導員)	林川貞彦
京都 (特別指導員)	山口博正
(特別指導員)	中村秀雄
大阪 (特別指導員)	片山敏和
(特別指導員)	勝浦正信
(指導員)	青木晴芳
兵庫 (特別指導員)	佐野光治
(特別指導員)	近藤正光
(指導員)	松益光治
奈良 (指導員)	若森実夫
和歌山 (指導員)	若西紀夫
(指導員)	坂本仁
鳥取 (指導員)	山村明良
島根 (指導員)	馬田尚

島根 (指導員)	佐古幹夫
岡山 (特別指導員)	大森三郎
(特別指導員)	角野守和
(特別指導員)	織田典信
広島 (特別指導員)	織水本敏
(特別指導員)	石井一二三
(指導員)	藤村健二
山口 (指導員)	山本示義
(指導員)	赤石信進
徳島 (指導員)	森島洋進
香川 (特別指導員)	浮田文則
(特別指導員)	西本玉和
愛媛 (特別指導員)	折竹俊功
(指導員)	森沢和一
(特別指導員)	裏正
福岡 (特別指導員)	安部甚吾
(特別指導員)	福岡寶弘
(指導員)	見田一徳
佐賀 (特別指導員)	七田正光
長崎 (特別指導員)	前田正光
(指導員)	北原卓
熊本 (特別指導員)	北岩日出子
(特別指導員)	泉譲治
(指導員)	瀬戸口清巳
大分 (指導員)	中野篤秀
(指導員)	齋藤勝義
宮崎 (特別指導員)	本島中
(特別指導員)	三浦政澄
鹿児島 (特別指導員)	竹原祐二

(敬称は略させて頂きました)

2、3階のウィンドーを使った 独創的な店舗が人気の的。

YSP和歌山/菅田彰彦社長

和歌山県和歌山市手平1-5-23 ☎0734-26-0750



国体道路に面したサービス店舗の2、3階ウィンドー展示がお店の特徴

ウィンドーを利用した外へ向けてのホットスペース

菅田彰彦社長（左から2人目）とスタッフのみなさん

店舗も商店街、住宅地、街道沿いと、立地する場所によって、さまざまな機能、スタイルをとりますが、今回の訪問店「YSP和歌山」さんは、和歌山市東部を南北に走る交通量の多い幹線道路に面して立地する、典型的な街道型ショップです。
 その「地の利」を活かしたお店づくりを、ジックリとご覧下さい。



サービス店舗上部ウィンドーのバイク展示スペースは、本体を置くだけでいっぱいになってしまうが、外へ向けてのメッセージ効果は抜群。バイクへの興味を高める一方で、店舗も広くなったような印象を与える

ショールーム店舗入口正面がお店のホットスペース。ビデオモニターが備えられたコーナーには、ニューSRX250を展示



飛び込み客を集める サービス店舗

和歌山市内に「YOU SHOP こんだ西浜店/秋月店」の2店を持つ菅田彰彦社長が、年々増えるスポーツバイクユーザーに 대응しようと、86年に3店舗目としてオープンさせたのが「YSP 和歌山」です。通りから向って左奥のショールーム店舗と、手前のサービス店舗の2つに分離された特徴的なお店は、フリーのサービス客を積極的に取り込むつもりとなっています。

「本体顧客以外に新規のお客さまをサービス部門の飛び込み客からつかもうとオープンした翌年に、通り沿いに12坪のサービス店舗をオープンさせました。

以前ショールームの奥でサービスを行っていた時よりも、女性や、消極的なお客さまも入りやすくなり、売り上げで見るとサービス部門が約3倍に伸びました。同時に、YTS講習会で身につけた技術を裏つけるスター店であることが、フリー客をつなぎ留める絶好の材料となり、本体販売、サービス売り上げという2本柱がしっかり根づいたようです」

外へ向けて ウィンドーを積極的に活用

サービス店舗の広さは12坪。しかしサービスだけの機能に終わらせず、左奥のショールーム店舗の2階のウィンドー同様に、この店舗にも2、3階の上部空間にショーウィンドーを設けることで、個人的なお店に仕上げています。

「交通量の多い国道沿いなので、外へ向けてアピールする店づくりができないかと考えて思いついたのが、サービ



接客カウンターは、お客さまとのコミュニケーションの場として利用



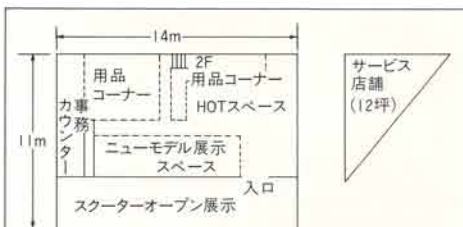
ショールーム店舗入口横のニューモデルコーナー



ショールーム店舗2階のお客さまコーナー



スクーターを中心に展示されたシャッター開閉式のオープンスペース



《お店のデータ》

- オープン：'86年
- 店舗規模：敷地面積69坪、店舗面積60坪（ショールーム店舗48坪、サービス店舗12坪）
- 展示台数：120～130台（中古車を含む）
- 立地：和歌山市東部を南北に走る国体通り沿い、周辺は住宅地
- 商圏：店を中心に半径2～3kmがスクーター、10～

- 15kmがスポーツ
- 客層：17～20代前半が中心。管理している顧客数は800名
- Y.E.S.S.会員：88名
- クラブ：ツーリングクラブ（毎月1回のツーリングを実施）
- 告知活動：DM（年に2～3回、400～500枚/1回）
- 営業：毎週木曜定休、午前9:30～午後8:00



このショーウィンドーは、いわば実車をはめ込んだカンバンのようなものですね笑。いまどきのお客さまは、あまり難しく考えなくて、興味が沸いたからやってみようという軽い気持ちでバイクを始めるという菅田社長。

ならば、バイク好き人間だけでなく、様々な人がバイクに興味を示して、バイクショップに遊びに来てくれる。そんな店づくりからの「明るいスポーツ宣言」をやっていること、バイクシーズンを迎えて、大いに意欲を燃やしています。

ス店舗の上部空間をショーウィンドーとして活用することでした。

2、3階とも展示できるスペースがウィンドーに面した場所だけなので、お客さんにも上ってもらって見ていただくという展示機能はつけていませんが、ニューシティと個性化ということをテーマにしました。バイクシーズンに向けて、ニューモデルと人気車種を展示したり、本格的な2サイクルチームの火付け役ともなったRZを展示したりと、話題づくりにいるいろトライして楽しんでいます。

